

英語4技能学習サービス「English 4skills」の導入により 熊本市をはじめとする全国の実証校の学びの改革を推進 ～経済産業省「EdTech 導入補助金」に採択～

株式会社 NTTドコモ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:吉澤 和弘、以下:ドコモ)が提供する、学校向け英語4技能学習サービス「English 4skills[®]」(以下、English 4skills)は、このたび経済産業省が実施する令和元年度補正 先端的教育ソフトウェア導入実証事業(以下、EdTech 導入補助金)に採択されました。

EdTech 導入補助金は、EdTech ソフトウェアや IT を活用した教育サービスの学校などへの導入実証を行う事業を実施する者に対して事業費などとして必要な経費の一部を補助することにより、学校および学校等設置者(自治体教育委員会、学校法人など)と教育産業の協力による教育イノベーションの全国的な普及を後押しすることを目的としています。

「English 4skills」は、「読む」「聞く」「話す」「書く」の英語4技能をスマートフォン、タブレット、パソコンでトレーニングし、「レベルチェックテスト」で技能ごとの実力を測定できる学校向け英語4技能学習サービスとなっており、本事業において、ドコモは熊本市の全市立中学校(43校)をはじめとする、全国複数の自治体、および学校法人に対し「English 4skills」を提供することにより、生徒一人ひとりに合わせた個別最適化学習の実践を推進します。

今回本事業に参画する熊本市では、令和元年9月に開催された「熊本の教育を世界に発信!～シュライヒャー局長^{*}と共に考える Education2030～」(主催:熊本市教育委員会、共催:NTTドコモ、熊本大学、熊本県立大学)において、遠藤 洋路教育長より世界的な動きを踏まえた熊本市の取組みに関する講演の中で、「平成31年度全国学力・学習状況調査」の結果から、成績上位層の生徒を伸ばせていない(全国平均以下)ことが課題の一つとされていました。課題解決には「個別最適化学習」が必要不可欠です。その手段の一つとして、英語力のバラつきにも対応ができ、生徒一人ひとりに適した学習が進められる「English 4skills」を高く評価いただき、主に自習時間や家庭学習用のオンライン教材として「English 4skills」の導入を決定いただきました。

なお本事業は、ドコモが代表事業者となり、株式会社 Libry(本社:東京都千代田区、代表取締役 CEO:後藤 匠)、株式会社 LoiLo(本社:神奈川県横浜市、代表取締役:杉山 浩二)、株式会社 MetaMoJi(本社:東京都港区、代表取締役社長:浮川 和宣)のいずれかを構成員とした3つのコンソーシアムから、お客さまのご要望に応じたサービスを提供します。

～コンソーシアム企業と提供サービスのご紹介～

- ・株式会社 Libry 「Libry(リブリー)」 <https://giga.libry.jp/>
- ・株式会社 LoiLo 「ロイロノート・スクール」 <https://n.loilo.tv/ja/>
- ・株式会社 MetaMoJi 「MetaMoJi Classroom」 <https://product.metamoji.com/education/>

Society5.0 社会に求められる人材の育成のため、「GIGA スクール構想の実現」を掲げており、今まさに ICT による教育の変革が求められています。今後も、ドコモは中期戦略 2020「beyond 宣言」に基づき、教育分野での「ソリューション協創」の実現に向け、生徒一人一台という端末・通信環境の整備や、生徒の学びを支援するソフトウェアサービスの提供など、ハード・ソフト両面から教育 ICT 環境整備を推進し、さらなる教育改革に努めてまいります。

※ アンドレアス・シュライヒャー氏：経済協力開発機構(OECD)教育・スキル局長

* 「English 4skills」は、株式会社 NTTドコモの登録商標です。

報道機関からの問い合わせ先

株式会社 NTTドコモ
第一法人営業部 教育 ICT 推進 第三担当
TEL:03-5156-1193
E-mail:dst-ml@nttdocomo.com

English 4skills 概要

1. サービス概要

- ・ 「読む」「聞く」「話す」「書く」の英語 4 技能をスマートフォン、タブレット、パソコンでトレーニングし、「レベルチェックテスト」で技能ごとの実力を測定できる学校向け英語 4 技能学習サービス
- ・ 生徒は 4 つの技能ごとの自分の実力にあった演習問題を繰り返し、レベルチェックテストで 現状把握が可能
- ・ 先生向けに、オンラインによる課題配信や生徒へのフィードバックのほか、学習状況を一覧で確認できる機能を提供
- ・ 英検[®]などの英語の検定試験対策も可能

サービスサイト:<https://e4skills.com/>

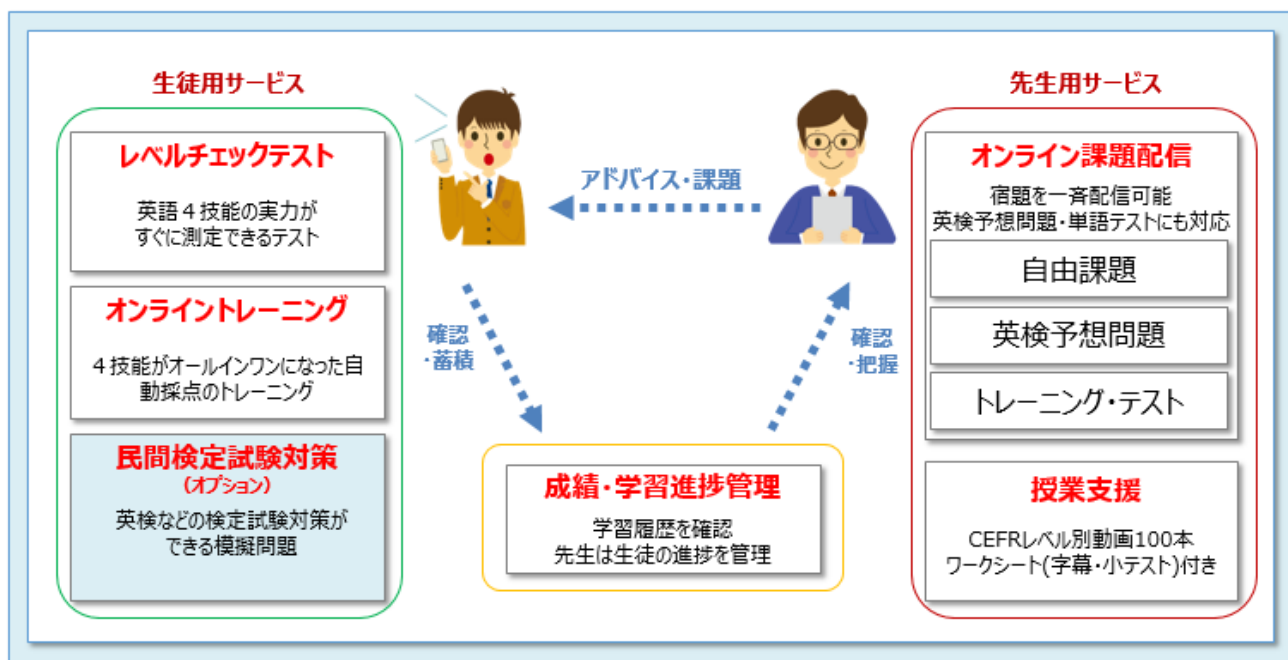
2. 料金

利用 ID 数により異なります。

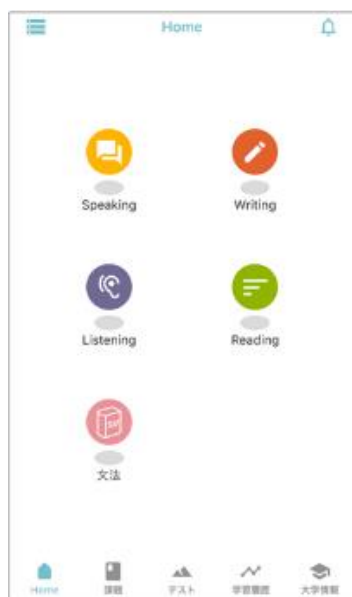
3. 主な機能

レベルチェックテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・英語 4 技能別に実力を測定できる確認テスト ・各技能テスト受験時間は約 20 分 ・10 段階および CEFR^{※1} レベル(A1~B1)で即時に自動採点^{※2}、フィードバック
トレーニング	<ul style="list-style-type: none"> ・各技能の一人一人のレベルに応じた、「読む」「聞く」「話す」「書く」の学習 -「読む」: 英文を読み、出題された問題に解答する -「聞く」: 英語音声を読み、出題された問題に解答する -「話す」: スマートフォンやタブレット、パソコンに向けて、実際に声に出して英文を読み上げる、問題に発話で解答する -「書く」: 出題された問題に、スマートフォンやタブレット、パソコンでテキスト入力または並べ替えで解答する ・英検 5 級~準 1 級相当の問題^{※3}を搭載
成績・学習進捗管理	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒だけでなく、先生も生徒の英語 4 技能のレベルや学習進捗を把握
オンライン課題配信	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインで課題出題、添削 ・英語の検定試験対策として個別指導
授業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2 分程度の英会話動画を CEFR 別、ジャンル別に検索 ・日本語、英語字幕や小テストなどの印刷可能なワークシート付き
英語の検定試験対策 ^{※3}	<ul style="list-style-type: none"> ・英検などの検定試験に向けた個別対策

4. ご利用イメージ



5. 画面イメージ



トップ画面



スピーキング問題



音声判定

※1 「CEFR(セフアール)」とは、欧州で広く使われている言語能力を示す国際指標です。例えば、CEFR「A2」の判定は英検準2級相当です。

※2 レベルチェックテストの Speaking、Writing では、株式会社 EduLab グループの AI 自動採点技術を使用しています。

※3 株式会社旺文社の教材を中心に搭載しています。

* 「英検」は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。